

海外株式プラス型(CS)特別勘定 運用状況(2010年12月末現在)

運用方針

- 主に海外の主要国ならびに新興成長国の株式を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。
- 海外の主要国の株式に50%程度、新興成長国の株式に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更することがあります。
- 原則として為替ヘッジは行いません。
- 運用にあたっては、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	2,820,525	99.6%
現預金・その他	10,779	0.4%
合計	2,831,304	100.0%

運用状況

2010年12月の世界株式市場はMSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で5.85%上昇しました。米国株式市場は月初の良好な経済指標等を背景に上昇して始まり、中旬以降も減税延長法案の合意等を受け、上昇基調で推移し、月を終えました。ドイツの株式市場は上旬、ECBが国債買収の継続を決定したこと等から上昇して始めました。中旬以降も同国のIfo景況感指数が前月に引き続き上昇したこと等から、高値圏での推移となりましたが、下旬は欧州周辺国の財政懸念が強まり、下落基調となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は2.81%上昇しました。

現在、「ステート・ストリート外国株式インデックス・ファンドVA1」、「アムンディ・ロシア東欧株ファンド」、「JFアジア株・アクティブ・オープンVA」および「JPM・BRICS5ファンド」に投資しています。

12月は資金移動に合わせて、「ステート・ストリート外国株式インデックス・ファンドVA1」および「アムンディ・ロシア東欧株ファンド」の購入を行いました。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

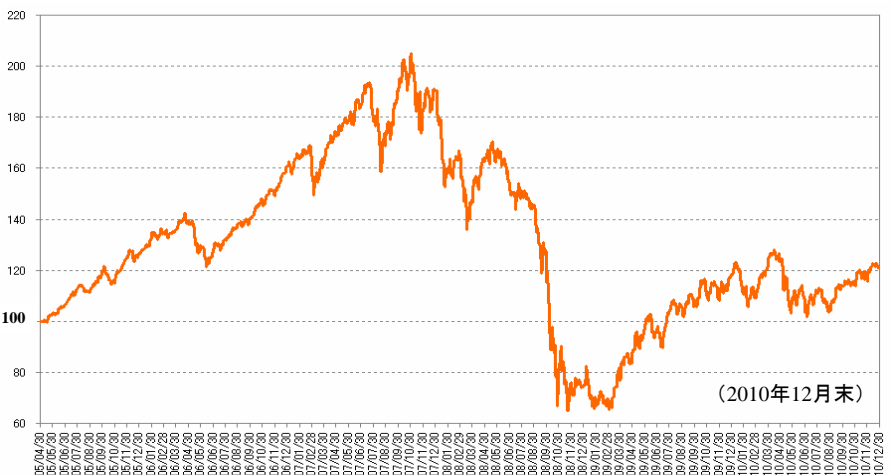
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定率
120.67272009	+2.81%	+5.89%	+15.31%	+2.11%	▲36.61%	+20.67%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点をも「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2005年5月1日)



ポートフォリオの状況

【基本配分】

海外主要国 50%程度
新興成長国 50%程度

【組入れ投資信託(投資比率)】

ステート・ストリート外国株式インデックス・ファンドVA1(50.0%) : p13上段
アムンディ・ロシア東欧株ファンド(10.5%) : p14上段
JFアジア株・アクティブ・オープンVA(21.7%) : p13下段
JPM・BRICS5ファンド(17.4%) : p14下段
現預金・その他(0.4%)

(注)「p13上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。